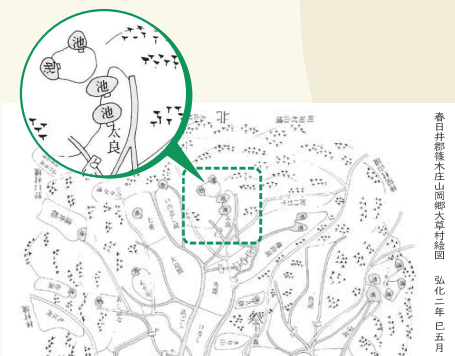


D ´ 100mm

C ´ 100mm

B ´ 100mm

A ´ 100mm



大草村絵図解読図（『小牧市史 資料編 2 村絵図編』より）
弘化2年（1845）の大草村絵図にはすでに3つのため池を見ることができます。

太良まめなしの里の歴史

太良まめなしの里は小牧市の東部丘陵地にあり、3つの農業用ため池（太良上池・太良下池・白兵池）を中心とした緑地です。一部には愛知県指定の天然記念物「大草のマメナシ自生地」があります。

3つのため池は周辺の丘陵地がつくる浅い谷状の低地（この地域から岐阜県方面にかけて「洞（ほら）」と呼ばれる）に築造されました。農耕に適さない丘陵地の山林原野の水を集め、洞の田んぼに水を供給したのち八田川に流れこみ、下流域の田んぼの貴重な水源としての役割を果たしてきました。

昭和36年（1961）に愛知用水が通水したのと同後して周辺の丘陵地は開拓地となり、入植団の人々の苦勞の末に田畑のある農地としての景観ができました。

平成に入ると近隣で工業団地開発が進みましたが、平成21年（2009）、農地景観と自然環境を守ろうという地元のみなさんの声が発端となり、小牧市、市民、近隣の大学や企業の話し合いの元、令和7年（2025）「太良まめなしの里」がオープンしました。

散歩やお昼休みの休憩、バードウォッチング、マメナシ観察など、こどもから大人までが憩い、発見し、学べる場となっています。

太良まめなしの里 map



小牧市
Komaki City

太良まめなしの里

DAIRA
MAMENASHI no SATO

本事業は「あいち森と緑づくり税」を活用して整備しています。

小牧市役所 都市政策部 みどり公園課